

商品概要		西武新2000系前期形	情報公開日		情報更新日	
			2019年3月4日			
商品番号	商品名		シリーズ	税抜価格	発売時期	
30705	西武新2000系前期形(新宿線・2509編成・ベンチレータ撤去後)増結4両編成セット(動力無し)		完成品 再生産	¥16,900	2019年7月	
30708	西武新2000系前期形(新宿線・2523編成・ベンチレータ撤去後)増結4両編成セット(動力無し)		完成品 再生産	¥16,900	2019年7月	
			西武新2000系は、2000系のモデルチェンジ車として1988年に登場した車両で、2両固定編成～8両固定編成まで様々なバリエーションがあり、2000系各グループとの併結による長編成で運用されています。2000系初期車との違いは、戸袋窓が復活し側面窓の天地寸法が拡大され1枚下降式となっている他、初期グループでは小型の前面貫通扉窓が特徴でしたが、後期グループでは貫通扉窓が大型化されました。 前期形は当初新宿線に投入されました。新製後間もなく前面スカートが取り付けられ、その後4両編成のクモハのパンタグラフが撤去されました。2012年以降ベンチレータ撤去工事も進められています。 その後もリニューアル工事が施され、現在でも西武鉄道全線で活躍する主力車両となっています。			
西武鉄道株式会社商品化許諾済						
商品の特徴						
■前期形4両固定編成を動力無しの増結用編成として再生産。他の動力付き編成と組合わせて楽しめます。 ■前面方向幕(種別・行先)、車両番号、社紋、シンボルマーク(西武鉄道)を印刷済み						
【共通仕様】 ■戸袋窓、客扉窓の大きさや形状など前期形の特徴を再現 ■避雷器、ランボードは一体彫刻表現、列車無線アンテナ、ヒューズボックスはユーザー取付け ■走行中はヘッドライト(電球色)・テールライト(赤色)が点灯(ライトON/OFFスイッチ付き) ■新宿方先頭車(クモハ2500型)のパンタグラフ撤去跡を再現 ■4両編成特有のパンタ付きモハの屋根配管を忠実に再現						
【No.30705 (新宿線・2509編成・ベンチレータ撤去後)増結4両編成セット(動力無し)仕様】 ■前面貫通扉窓が小さい初期グループの特徴を再現						
【No.30708 (新宿線・2523編成・ベンチレータ撤去後)増結4両編成セット(動力無し)仕様】 ■前面貫通扉窓が大型化されたグループの特徴を再現						
※商品の仕様は一部実車と異なる場合があります。						
商品セット構成(編成図)						
←西武新宿			拝島・本川越→			
西武新2000系前期形(新宿線・2509編成・ベンチレータ撤去後)増結4両編成セット(動力無し)						
No.30705			◇	◇		
種別: 急行	I				I	
行先: 西武新宿	クモハ2509	モハ2510	モハ2609	クハ2610		
西武新2000系前期形(新宿線・2523編成・ベンチレータ撤去後)増結4両編成セット(動力無し)						
No.30708			◇	◇		
種別: 急行	I				I	
行先: 西武新宿	クモハ2523	モハ2524	モハ2623	クハ2624		
別売対応品						
■TOMIX 室内照明ユニットLC(白色/電球色)狭幅(No.0733/0734) ■TOMIX TNカプラー密連型【電連付】・グレー(No.JC25) ■GREENMAX 西武新2000系対応行先表示ステッカー(No.6813)						
弊社から発売中/発売予定の主な関連商品案内				同一路線を走行する車両(一例)		
No.30218～30220 西武2000系初期車更新車				西武2000系 西武40000系		
No.30154 西武新2000系後期形パンタグラフ削減車				西武6000系		
No.30650・30651 西武30000系(新宿線)				西武10000系		
No.30834・30836 西武新2000系前期形(2057編成/2453編成) ※予定品				西武20000系		